



▲はんてんを着て一生懸命に舞う子どもたち
(児童演舞体験)



▲襲い掛かってくる虎を退治する「魔導舞」(新市場神楽親睦会)



▲大蛇に見立てた、しめ縄を豪快に切る「メ切」
(山倉芸能保存会)



▲医者と看護婦のやりとりに笑いが巻き起こる
(牧野神楽保存会)

里神楽演舞会

神楽で広がる交流の輪

2月21日に山田公民館で里神楽演舞会が催され、市内各地で継承されている神楽の競演を一目見ようと大勢の観客が訪れました。

天鈿女之命あめつづめのみことや須佐之男尊すさのおのみことなどの日本神話の神々をモチーフとした厳かな面神楽や、20数年ぶりに復活した虎退治の演目「魔導舞」などの大迫力の獅子神楽の披露に観客の目はくぎ付けに。神楽を初めて見る人や子どもたちにも楽しんでもらえるようにと「鬼」「鐘馗」「医者と看護婦」などのユーモラスな余興演目や、香取市子ども会育成連合会と山倉芸能保存会による「児童演舞体験」も行われ、会場中に笑顔があふれる場面もありました。観客は時に真剣に、時に和やかに、里の神楽を堪能しました。

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

幼児教室音楽会

跳んで跳ねて歌って



▲子どもたちも鈴やタンバリンを持って参加

幼稚園・保育園へ入園前の子どもとその家族が交流する、幼児教室が山田児童館で行われました。2月17日、ひな飾りをバックに演奏を披露した高野洋彦さん(高野)らはクラリネットやフルート、パーカッションなどを幅広く扱い、子どもたちの人気者に。音楽はアニメや童謡をはじめ、親しみやすいプログラムで、集まった家族がそろって楽しめる内容。全身ではしゃぐ子どもたちにお母さんたちからも笑みがこぼれます。森のくまさんに扮した出演者が登場すると、ひととき歓声が上がっていました。

生涯学習フェスティバル

楽しむことが若さの秘訣

2月14日、佐原文化会館で生涯学習フェスティバルが開催され、日頃のサークル活動などの成果がステージで発表されました。

84歳の前田いとさん(長岡)と竹内つや子さん(山倉)が所属するマイレ本間フラスクールの発表では、「生涯学習」を体現した年齢を感じさせない優雅なフラダンスを披露しました。

また、ロビーでは人材バンクいろいろ体験フェアとして、こま回しやけん玉などの昔遊びや勾玉まがたまなどの小物作りの体験も行われ、大勢の子どもたちが夢中になって遊ぶ姿が見られました。



▲練習の成果が花開く

記念切手贈呈式

千葉の桜の名所に城山も

日本郵便株式会社関東支社が販売しているオリジナルフレーム切手セット「関東さくら紀行～千葉県～」に、「水郷おみがわ桜つつじまつり」の城山公園の写真が取り上げられました。

それを記念した贈呈式が2月19日に行われ、市内6つの郵便局の局長から切手セットの贈呈を受けました。城山公園の桜を推薦した富田郵便局長の有田さんは「切手を買っていただいた人に城山公園のきれいな桜を知ってもらい、香取市に足を運んでほしい」と期待を込めて話してくれました。



▲県内の全689郵便局で販売

◀神里郵便局長 小山田さん（左）から贈呈

香取・佐原母親大会

教育の場から考える子育て

2月21日に佐原中央公民館で香取・佐原母親大会が開催されました。

20回の節目を迎えた今回は、旧山倉村（現香取市）出身の高橋健さんと多古町出身の佐々俊男さんを講師に迎え、「子どもの未来と教育」をテーマに講演が行われました。

小学校の教員として勤務した佐々さんは、子どもの教育に深く関係している教科書の問題に触れ、普段見ることがない出版社ごとの記載の違いに、参加者は興味津々でした。高橋さんは柏市教育対話集会を35年間続けてきた経験を話しました。

また、講演前には味岡征代さんによるマジックショーが行われ、大会に華を添えました。



▲たくさんの参加者が集まりました

狂言（鑑賞と体験）

日本古来のショートコント

2月22日、小見川南小学校で狂言体験教室が行われました。講師は能楽師狂言方大藏流の大藏教義さん、宮本昇さん、上田圭輔さん。「明るく楽しく元気よく!!」をモットーに面白おかしく指導してくれる3人に児童たちはすっかり打ち解け、和やかな雰囲気の中狂言の発声や構えなどを教わりました。

また、狂言「柿山伏」の鑑賞では、普段演じられているままの難しいセリフでしたが、大藏さんの卓越した表現力に児童たちは引き付けられ、犬、猿、カラス、トビなどの鳴きまねをする場面は児童たちの笑い声に包まれました。



▲見事な発声が会場中に響き渡る

みて見て Lovely Kids of Katori うちの子



食いしん坊万歳♪
いつも笑顔で走り回ります☆

しんぼり しょうじ
新堀 文司くん
1歳9カ月(加藤洲)
パパ 洋平さん ママ 真由美さん



おてんばな女の子です♡

かたの あかり
片野 朱俐ちゃん
1歳9カ月(昭和町)
パパ 峰久さん ママ 高恵さん



元気で笑顔のすてきな
優しい子に育ってね♡

かとり ひまり
香取 陽葵ちゃん
1歳9カ月(多田)
パパ 恵祐さん ママ 由香里さん



嵐と外遊びの大好きな
うちのアイドルです♪

てがともか
手賀 智香ちゃん
1歳9カ月(阿玉川)
パパ 章博さん ママ 美花さん



いちごが大好き♪
お姉ちゃんと仲良くね!

ささき るい
佐々木 琉海ちゃん
1歳9カ月(木内)
パパ 裕基さん ママ 唯さん

ハーバード大学デザイン大学院の学生来訪

のどかな里山暮らし体験



▲悪戦苦闘しながら初めての薪割りに挑戦

環境デザイン学などを学ぶハーバード大学デザイン大学院の学生13人が2月22日から2泊3日で沢地区にホームステイしました。日本の農村の現状を学ぶため来日した学生たちは地元の沢木材の協力により杉の伐採などを見学。チェーンソーなどを使い、大木が倒される様子を見守り、この木が日本家屋の柱になると聞くと、興味深げに断面を触るなどしていました。ホセ・コルディオさんは、「景色がとても美しく、人がとても温かい」と話し、サラ・カントロウィツ



▲杉の伐採を息のみ見守る学生たち

チさんは、「朝の散歩でちゅうしるしみず中白清水に連れてってもらい、水をくみに来る人もいて、ここは地域の特別な場所なんだと知りました」と語り、自然と共存する日本の農村について理解を深めていました。